

入学者選抜要項

Admission
procedure
outline



AOMORI

2012

PUBLIC

経営経済学部

経営学科

経済学科

地域みらい学科



青森公立大学

目 次

I	青森公立大学の概要	1
II	2012年度入学者選抜の概要	3
III	一般選抜（前期日程、後期日程）	4
1	実施学部・学科及び募集人員	4
2	選抜方法・実施時期等	4
3	出願資格	4
4	出願上の注意	4
5	併願上の注意	4
6	実施教科・科目・配点	5
IV	AO（アドミッション・オフィス）選抜	6
1	AO選抜で求める学生像	6
2	AO選抜Ⅰ期	6
(1)	選抜方法	7
(2)	面接について	7
3	AO選抜Ⅱ期	7
(1)	海外帰国子女特別選抜	7
(2)	社会人特別選抜	8
(3)	外国人留学生特別選抜	8
V	推薦入試	9
1	学校推薦（県内）	9
2	学校推薦（県外）	9
VI	障害のある方の出願について	10
VII	2012年度学生募集要項等の配布について	10

I 青森公立大学の概要

■ 開学の経緯

青森公立大学は、青森地域における高度な教育研究機会の確保が求められる中、20万人を超える署名と20億円を超える寄付など地域の方々の大きな支援と期待を担い、1993年4月、旧青森市と東津軽郡（平内町、旧蟹田町、今別町、蓬田村、旧平館村、旧三厩村）の3町3村により、経営経済学部経営経済学科を擁する大学として設置されました。

1997年度には、大学院（修士課程）が開設され、地域に密着した高度な教育研究機関として実社会に送り出す人材に責任をもつ教育を実践し、高度専門的職業人を育成しています。

2006年度には、経営経済学部は「経営学科」、「経済学科」、「地域みらい学科」の3学科に改編され、さらなる教育の充実と地域に貢献する人材の育成を目指しています。また、地域の生涯学習ニーズに応えるための公開講座やアメリカ合衆国などの諸外国との交流事業を積極的に展開しているほか、講堂、図書館などの施設を地域の方々に利用していただいているなど、地域に根ざした大学として歩んでいます。

2009年度には、教職課程が開設され、経営学科では高校商業1種免許状、経済学科では高校公民1種免許状を取得するための資格を得ることができるようになりました。

■ 学部・学科及び入学定員

経営経済学部	経営学科	入学定員130名
	経済学科	入学定員130名
	地域みらい学科	入学定員40名

■ 教育の基本方針

本学は、無限の可能性とみずみずしい感受性をもつ若者たちに開かれた学問探究の場であり、受験勉強に疲れ果てた者の休息の場ではありません。知的探求心に燃える若者が、専門的理論と技能、市民的教養を、豊かな学問的雰囲気の中で蓄積し錬磨し、自ら考える楽しみを発見するキャンパスである本学には、単なる知識詰め込み型の講義はありません。

本学は次の方針を掲げることにより「学士教育」に対する社会的責任を果たします。

- ① 多くのことを教えすぎないこと。
- ② 教えるべきことは徹底して教えること。
- ③ 常に『何故か』の問いを發し、自らの頭で考える知的訓練を課し、創造力を育てること。

■ 教育目的 「経営経済の専門性を持った教養人の育成」

経営経済に関する専門的な知識のみではなく、グローバルな視野とコモン・センスの涵養も重要です。広く人間社会に関わる豊かな市民的教養と特殊領域での専門知識を兼備した人間こそが、21世紀に求められる人材です。この「経営経済の専門性を持った教養人の育成」を達成するため、次の本学の理念を柱として教育目的を設定しています。

- ① 教育に責任を持ち、社会に対して教育の質を保証する。
- ② 地域に開かれた大学として、地域社会の発展に貢献する。

■ 教育目標

経営経済学部は、経営学科、経済学科、地域みらい学科の3学科から編成され、それぞれに育成する人材像を教育目標として掲げ、「学士教育」を徹底します。

本学の教育目標は、グローバル化と情報化、多極化と複雑化が進展する現代社会にあって、経営経済の専門知識と豊かな教養を修めることによって解決すべき諸課題を的確に把握し、解決策を考案し、その実現のために協働できる、意欲的で活動的な人材を育成することにあります。

■ アドミッション・ポリシー

- ・「経営経済の専門性をもった教養人の育成」という本学の教育理念、教育目標に合致した学生を受け入れる。
- ・受験学力よりも、入学後の学修に必要な主要教科の基礎学力を備えていると同時に、入学後の学習に関する問題意識をもち、厳しい修練に耐え抜く強い意志と自己管理能力をもった学生を受け入れる。
- ・学力だけではなく多様な観点から入学者を選抜するが、AO選抜Ⅱ期を除くすべての入学者に、大学入試センター試験の受験と成績表の提出を義務付ける。
- ・個別学力検査を課さない学校推薦については、本学の教育課程を支えるGPAデータ等に基づく選抜基準によって、入学を許可する。
- ・長寿社会と高度知識基盤社会の要請に応えるため、編入学の学力検査によって入学を許可する。
- ・海外帰国子女ならびに社会人及び外国人留学生については、学力に関する特別選抜によって入学を許可する。

■ 3学科の育成する人材像について

(1) 経営学科

環境変化を的確に認識しながら、企業を始めとする様々な組織の仕組みを理解する能力。同時に、組織を革新的に存続・発展させていくための経営戦略を策定し、遂行できる知識と実践力を身につけます。

《育成する人材像》

- ・組織と個人の問題、組織における人間関係に焦点をあてながら、人間協働を構築し、維持・発展できる人材
- ・会計データを読み、資金の調達や運用にかかわる財務上の問題を見出し、それに関する解決策を提示できる人材
- ・市場はもとより、多様な環境の変化に適応することだけでなく、自らが戦略的に変革を策定し、実践できる人材

(2) 経済学科

現実の社会経済を見据え、経済的諸課題に対してプロとしての経済分析手法を用いて解明する能力。同時に、諸政策・市場戦略を企画し、それを実行できる知識と行動力を身につけます。

《育成する人材像》

- ・企業経済、産業、地域経済、公共経済、国際経済など、さまざまなレベルで生起する経済問題を分析する能力をもち、それを解決できる人材
- ・金融、財政、証券の専門知識をもとに、ファイナンスの問題を解決できる人材
- ・行政や非民間部門における政策分析を行う能力を持つとともに、プロとしての評価や判断を的確にできる人材

(3) 地域みらい学科

現状を変革しうるベンチャービジネスや地域産業、公共経営の実態を深く理解し、実践力を培います。同時に、地域の未来を見据え、現状を創造的、発展的に変革しうる地域社会のリーダーやキーパーソンとしての資質と能力を身につけます。

《育成する人材像》

- ・地域の地場産業や基幹事業、さまざまな地域活動に関する知識と経験をいかしながら、新たな事業の創造や複合事業の開拓を目指す、地域ビジネスの起業家または後継者、リーダーとなる人材
- ・自治体行政から、公共サービス、NPOやNGO、ボランティア団体に至るまで、必要とされる組織のマネジメント力、リーダーシップ、変革力、創造力などに優れた公共セクターのプロフェッショナルとなる人材

■ 教職課程について

経営経済学部 経営学科 高校商業1種免許状
経済学科 高校公民1種免許状

Ⅱ 2012年度入学者選抜の概要

選抜区分		募集人員	出願期間	選抜方法等	試験日	試験地	合格発表	入学手続
一 般 選 抜	前期日程	130名	1月23日(月) ～ 2月1日(水)	大学入試センター試験 (4科目) 国語 数学①群から1 外国語(英)	2月25日(土)	青森市 東京都	3月7日(水)	3月7日(水) ～ 3月15日(木)
	経営学科	60名		数学②群 地理歴史 ・公民 } から1				
	経済学科	60名						
	地域みらい学科	10名						
	後期日程	10名		個別学力検査 国数または国英				
経営学科	5名	大学入試センター試験 (2科目) 数学①群から1 外国語(英)	個別学力検査は 課さない	—	3月21日(水)	3月21日(水) ～ 3月27日(火)		
A O (ア ド ミ ッ シ ョ ン ・ オ フ イ ス) 選 抜	AO選抜Ⅰ期	30名	8月1日(月) ～ 8月8日(月)	書類審査 小論文 面接	9月12日(月)	青森市	9月16日(金)	9月16日(金) ～ 9月30日(金)
	経営学科	9名						
	経済学科	9名						
	地域みらい学科	12名						
A O 選 抜 Ⅱ 期	海外帰国子女 社会人 外国人留学生	若干名 (募集人員は、 一般選抜の前期 日程の募集人員 に含む。)	11月18日(金) ～ 11月25日(金)	書類審査 小論文 面接	12月2日(金)	青森市	1月13日(金)	1月13日(金) ～ 1月23日(月)
推 薦 入 試	学校推薦(県内)	115名	11月1日(火) ～ 11月8日(火)	書類審査	面接等は 課さない	—	11月25日(金)	11月25日(金) ～ 12月2日(金)
	経営学科	50名						
	経済学科	50名						
	地域みらい学科	15名						
	学校推薦(県外)	15名						
経営学科	6名							
経済学科	6名							
地域みらい学科	3名							

Ⅲ 一般選抜（前期日程、後期日程）

1 実施学部・学科及び募集人員

経営経済学部	前期日程	後期日程
経営学科	60名（国数選択枠30名、国英選択枠30名）	5名
経済学科	60名（国数選択枠30名、国英選択枠30名）	5名
地域みらい学科	10名（国数選択枠 5名、国英選択枠 5名）	—

2 選抜方法・実施時期等

前期日程：大学入試センター試験の成績及び本学が実施する個別学力検査の成績と出願書類（調査書）の内容を審査し、それらを総合して行います。

後期日程：大学入試センター試験の成績と出願書類（調査書）の内容を審査し、それらを総合して行います。

日 程	出 願 期 間	個別学力検査実施日	合格発表
前期日程	1月23日（月）	2月25日（土）	3月7日（水）
後期日程	～2月1日（水）	個別学力検査は課さない	3月21日（水）

3 出願資格

本学に入学を志願できる者は、次のいずれかに該当し、かつ平成24（2012）年度大学入試センター試験において、本学が指定する教科・科目（5ページ大学入試センター試験の利用教科・科目参照）を受験していることを要します。

- （1）高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び2012年3月卒業見込みの者
- （2）通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2012年3月修了見込みの者
- （3）学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2012年3月31日までにこれに該当する見込みの者

4 出願上の注意

- （1）書類に不備がある場合は受理できません。
- （2）本学が指定する大学入試センター試験の教科・科目を受験していない場合は、出願をすることができません。
- （3）一度受理をした出願書類及び既納の入学検定料は、理由のいかんを問わず返還いたしません。
- （4）出願受理後には、出願事項の変更は認めません。
ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合には、本学事務局教務学事グループ入試チームまで連絡してください。
- （5）出願書類に虚偽の記載をした場合、入学後であっても入学の許可を取り消します。

5 併願上の注意

- （1）本学の「前期日程」と他の国公立大学（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の「前期日程」との併願はできません。
また、本学の「後期日程」と他の国公立大学の「後期日程」との併願はできません。
- （2）他の国公立大学の「推薦入試」及び「AO入試」に合格し、入学手続を行った者は、当該大学の入学辞退の許可を受けた場合を除き、本学を受験しても合格者になりません。
重複して入学手続を行った事実が判明した場合は、本学の入学許可を取り消します。
- （3）他の国公立大学の「前期日程」に合格し、入学手続を行った者は、本学の「後期日程」を受験してもその合格者になりません。
重複して入学手続を行った事実が判明した場合は、本学の入学許可を取り消します。

※ 独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部については、公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/nyushi>）を確認ください。

6 実施教科・科目・配点

(1) 一般選抜の教科・科目（学科共通）

日程	大学入試センター試験の利用教科・科目			個別学力検査の実実施教科・科目	
	教科	グループ	科目名等	教科	科目名
前期日程	国語		国語（ただし、近代以降の文章のみ）	国語	国語（ただし、近代以降の文章のみ）
	数学	①	数Ⅰ、数Ⅰ・数Ⅱから1	【選択】	数学か英語を出願時に選択 （数学は数Ⅰ・数Ⅱとする）
	外国語		英語（リスニングを含む）		
	【選択】 数Ⅱ 地理歴史 ・公民	②	数Ⅱ、数Ⅱ・数Ⅲ、工、簿、情報 世Ⅰ、世Ⅱ、日Ⅰ、日Ⅱ、地理Ⅰ、地理Ⅱ 現社、倫、政経、倫政経 以上から1		
〔3教科4科目又は4教科4科目〕					
後期日程	外国語 数学	①	英（リスニングを含む） 数Ⅰ、数Ⅰ・数Ⅱから1	個別学力検査は課さない	
	〔2教科2科目〕				

(2) 配点（学科共通）

日程	大学入試センター試験・個別学力検査の配点						
	試験の区分	国語	数学	英語	選択科目	配点計	
前期日程	センター試験	100	100	100	100	400	
	個別 学力 検査	国数選択枠	100	100	—	—	200
		国英選択枠	100	—	100	—	200
	計	国数選択枠	200	200	100	100	600
		国英選択枠	200	100	200	100	600
後期日程	センター試験	—	200	200	—	400	
	個別学力検査は課さない						
	計	—	200	200	—	400	

【一般選抜出願の際の留意事項】

志願者数によって調整することがあるため、志望学科に順位をつけて出願することができます。

前期日程においては経営学科・経済学科・地域みらい学科の3学科が対象となります。また、後期日程においては経営学科・経済学科の2学科が対象となります。

【前期日程における注意事項】

- 前期日程においては個別学力検査の受験科目として、国数選択枠、国英選択枠のいずれか1つを出願時に選択します。
- 選択科目（数学グループ②）で「工業数理基礎」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。
- 大学入試センター試験において選択教科を複数受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用します。
- 個別学力検査の国数選択枠、国英選択枠における数学と英語の得点調整は行いません。

IV AO(アドミッション・オフィス)選抜

1 AO選抜で求める学生像

本学では、将来の進路について明確な夢を有し、その夢を実現するために目的意識を持って大学生活を送ろうとする人材を発掘することを目的として、「AO選抜」を実施します。求める学生像は、

“経営や経済に関心を持ち、得意とする能力や技能を生かして、
将来社会で指導的な役割を果たそうとする意欲ある学生”です。

さらに、3学科の“求める学生像”は、次のとおりです。

<経営学科>

柔軟な発想を持ち、創造力に富み、人とのつながりを大切にする学生

<経済学科>

幅広い社会的関心を持ち、熱いハートの持ち主で、冷静な分析力を有する学生

<地域みらい学科>

旺盛な好奇心と豊かな想像力を持ち、行動力にあふれ、人間が好きな学生

2 AO選抜I期

実施学部	経営経済学部			
学科名	経営学科	経済学科	地域みらい学科	計
募集人員	9名	9名	12名	30名
出願期間	2011年8月1日(月)～2011年8月8日(月)			
選抜期日	【面接】2011年9月12日(月)【本学で実施】			
出願要件	<p>全国の高等学校若しくは中等教育学校を2012年3月に卒業予定の者であって、本学を専願し、次のいずれかに該当し、かつ大学入試センターを受験し、大学入試センター試験成績通知書(大学入試センター発行)を提出できる者</p> <p>① 高等学校在学中における特別活動(ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事)において顕著な指導力を発揮した者、又は地域社会や地域文化への貢献活動において中核的役割を担って活躍した者であって、全体の評定平均値が3.5以上で、国語、数学、英語の評定平均値がいずれも3.8以上の者</p> <p>② 次のいずれかの資格を有し、かつ、全体の評定平均値が3.5以上の者</p> <p>i) 日本商工会議所主催簿記検定試験2級以上又は財団法人全国商業高等学校協会主催簿記実務検定試験1級</p> <p>ii) 独立行政法人 情報処理推進機構情報処理技術者試験センター主催基本情報技術者</p> <p>iii) ア TOEFL (Test of English as a Foreign Language) 420点以上 (Paper-Based Test)</p> <p>イ 日本英語検定協会主催実用英語技能検定2級以上</p> <p>ウ 財団法人日本国際連合協会主催国際連合公用語英語検定試験C級以上</p> <p>エ TOEIC (Test of English for International Communication) 400点以上</p> <p>③ 全体の評定平均値が4.0以上で、かつ、国語、数学、英語のうちいずれか2教科の評定平均値がそれぞれ4.5以上の者</p>			

(1) 選抜方法

全学科とも小論文を含む出願書類の審査及び面接による総合的な評価により選抜します。

(2) 面接について

A O選抜 I 期の出願者に対して面接を行います。面接では、小論文をもとに思考の論理性、柔軟性、構想力、表現力、そして志望動機及び目的意識を確認します。

【A O選抜 I 期出願の際の留意事項】

経営学科、経済学科、地域みらい学科の 3 学科の中で、志望する 1 つの学科に出願することになります。

3 A O選抜 II 期

(1) 海外帰国子女特別選抜

実施学部	経営経済学部		
学科名	経営学科	経済学科	地域みらい学科
募集人員	若干名		
出願期間	2011年11月18日(金)～2011年11月25日(金)		
選抜方法	出願書類の審査、小論文及び面接の結果を総合して判定する。		
選抜期日	2011年12月2日(金)		
出願要件	<p>日本国籍を有する者で、海外に在留の結果、次のいずれかに該当し、TOEFL (Test of English as a Foreign Language) のスコアを提出できる者</p> <p>① 外国の教育制度に基づく教育機関において、最終学年を含め2学年以上継続して学校教育を受け、12年の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。)を2011年4月1日から2012年3月31日までに修了した者及び修了見込みの者</p> <p>② 外国の教育制度に基づく教育機関において、2年以上継続して学校教育を受け、12年の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。)を中途退学し、引き続き日本の高等学校の第3学年に編入学を認められた者で、2012年3月に卒業見込みの者</p> <p>③ スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレアの資格を有する者で、2012年4月1日現在において満18歳に達する者</p>		

【海外帰国子女特別選抜出願の際の留意事項】

経営学科、経済学科、地域みらい学科の 3 学科の中で、志望する 1 つの学科に出願することになります。

(2) 社会人特別選抜

実施学部	経営経済学部		
学科名	経営学科	経済学科	地域みらい学科
募集人員	若干名		
出願期間	2011年11月18日(金)～2011年11月25日(金)		
選抜方法	出願書類の審査、小論文及び面接の結果を総合して判定する。		
選抜期日	2011年12月2日(金)		
出願要件	<p>2012年4月1日において満23歳に達し、社会人の経歴を3年以上有する者で、次のいずれかに該当する者。ただし、定時制、通信制以外の学校の在学期間は、社会人の経歴期間に含めない。</p> <p>① 高等学校を卒業した者及び2012年3月に卒業見込みの者</p> <p>② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者</p> <p>③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者</p>		

【社会人特別選抜出願の際の留意事項】

経営学科、経済学科、地域みらい学科の3学科の中で、志望する1つの学科に出願することになります。

(3) 外国人留学生特別選抜

実施学部	経営経済学部		
学科名	経営学科	経済学科	地域みらい学科
募集人員	若干名		
出願期間	2011年11月18日(金)～2011年11月25日(金)		
選抜方法	出願書類の審査、日本語による小論文及び面接の結果を総合して判定する。		
選抜期日	2011年12月2日(金)		
出願要件	<p>次の資格・要件をすべて満たしている者</p> <p>① 日本国籍を有しない者で、次のいずれかに該当する者</p> <p>ア 外国の教育制度に基づく教育機関において、学校教育における12年の課程を修了した者(2012年3月31日までに修了見込みの者を含む)</p> <p>イ アに準ずる者で、文部科学大臣の指定した者(昭和56年文部省告示第153号)</p> <p>ウ スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレアの資格を有する者で、2012年4月1日現在において満18歳に達する者</p> <p>② 独立行政法人 日本学生支援機構が実施する平成23年度日本留学試験において、本学の指定する科目(日本語、総合科目、数学コース1)の全てを受験した者</p> <p>③ TOEFL (Test of English as a Foreign Language) 又はTOEIC (Test of English for International Communication) のスコアを提出できる者</p>		

【外国人留学生特別選抜出願の際の留意事項】

経営学科、経済学科、地域みらい学科の3学科の中で、志望する1つの学科に出願することになります。

V 推薦入試

1 学校推薦（県内）

実施学部	経営経済学部			
学科名	経営学科	経済学科	地域みらい学科	計
募集人員	50名	50名	15名	115名
出願期間	2011年11月1日（火）～2011年11月8日（火）			
選抜方法	出願書類の審査により判定する。			
選抜期日	書類審査によるため、選抜期日を設けない。			
出願要件	<p>次の各号いずれにも該当し、高等学校長が本学の教育理念及び教育システムに対応できる資質と基礎学力を有する者と判断し、責任をもって推薦できる者</p> <p>(1) 青森県内の高等学校を2012年3月31日までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 本学における教育システムを十分に理解したうえで、本学での勉学を強く志望し、合格した場合には、必ず入学することを確約できる者</p> <p>(3) 次の①～②いずれも満たす者</p> <p>① TOEIC (Test of English for International Communication) 375点以上又は日本英語検定協会主催実用英語技能検定準2級以上の者</p> <p>② 調査書の4教科（国語、数学、英語、公民）の評定平均値に3.2以下がなく、学習成績概評「B」以上の者</p> <p>(4) 大学入試センター試験を受験し、大学入試センター試験成績通知書（大学入試センター発行）を提出できる者</p>			

【学校推薦（県内）出願の際の留意事項】

第1志望学科と第2志望学科に順位をつけて出願することができます。

2 学校推薦（県外）

実施学部	経営経済学部			
学科名	経営学科	経済学科	地域みらい学科	計
募集人員	6名	6名	3名	15名
出願期間	2011年11月1日（火）～2011年11月8日（火）			
選抜方法	出願書類の審査により判定する。			
選抜期日	書類審査によるため、選抜期日を設けない。			
出願要件	<p>次の各号いずれにも該当し、高等学校長が本学の教育理念及び教育システムに対応できる資質と基礎学力を有する者と判断し、責任をもって推薦できる者</p> <p>(1) 北海道、岩手県、秋田県、山形県、宮城県で本学が指定する高等学校を2012年3月31日までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 本学における教育システムを十分に理解したうえで、本学での勉学を強く志望し、合格した場合には、必ず入学することを確約できる者</p> <p>(3) 調査書の4教科（国語、数学、英語、公民）の評定平均値に3.5以下がなく、学習成績概評「B」以上の者</p> <p>(4) 大学入試センター試験を受験し、大学入試センター試験成績通知書（大学入試センター発行）を提出できる者</p>			

【学校推薦（県外）出願の際の留意事項】

第1志望学科と第2志望学科に順位をつけて出願することができます。

VI 障害のある方の出願について

身体の障害又は病気その他の理由で、受験上特別の配慮を希望する志願者は、出願の前に予め本学事務局教務学事グループ入試チームまで連絡し、相談してください。

VII 2012年度学生募集要項等の配布について

1 配布開始

一般選抜	11月上旬	
AO選抜Ⅰ期	7月上旬	
AO選抜Ⅱ期	11月上旬	※郵送による請求のみ

2 請求方法

(1) 大学のホームページから請求する場合


大学のホームページから大学案内及び募集要項の資料が請求できます。詳しくは、青森公立大学のホームページ (<http://www.nebuta.ac.jp/>) をご覧ください。

(2) インターネット (パソコン・携帯電話) または自動音声応答電話で請求する場合

※請求先により、料金及び支払方法が異なりますので、内容を確認の上、請求してください。

〈テレメール〉

① 下記のいずれかの方法で  テレメールにアクセスしてください。

インターネット (パソコン・携帯電話)	http://telemail.jp ※パソコン・携帯電話各社共通アドレス	携帯電話でバーコードを読み取り、アクセスした場合は資料請求番号の入力は不要。 
自動音声応答電話	IP電話 050-8601-0101 (24時間受付) ※IP電話への通話料金は、一般電話回線からは日本全国どこからでも3分毎に約11円。	

② 請求を希望する資料請求番号 (6桁) をプッシュまたは入力してください。

資料名	資料請求番号
大学案内	560602
一般選抜募集要項	580602
一般選抜募集要項+大学案内	540602
AO選抜Ⅰ期募集要項	588582
AO選抜Ⅰ期募集要項+大学案内	588592


③ あとはガイダンスに従って登録してください。

注 意 事 項

- ・ 発送開始以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送されます。その際は、発送開始日の翌日から3日程で資料が届きます。
- ・ 発送開始日以降に請求された資料は請求してから2～3日程が届きます。ただし、受付日時や地域、配達事情によっては、4日以上かかる場合もあります（お届けまでの日数は請求日の翌日を起算日とします）。なお、5日以上経っても届かない場合には、テレメールカスタマーセンターへお問い合わせください。
- ・ 送料は、お届けした資料に同封されている支払方法に従い、表示料金をお支払いください。なお、支払に際して手数料が別途必要になります。送料は資料の重量変更により変更になる場合がありますので、予めご了承ください。
- ・ 電話によるご請求の場合、住所・名前の登録時は、ゆっくりはっきりとお話ください。登録された音声不鮮明な場合は、電話で住所・名前を確認することがありますので、電話番号は必ずご登録ください。

〈モバっちょ〉

- ① 下記のいずれかの方法で「モバっちょ」にアクセスしてください。

インターネット (パソコン・携帯電話)	http://djc-mb.jp/nebuta/ ※パソコン・携帯電話各社共通アドレス	携帯電話 
------------------------	---	--

- ② あとはガイダンスに従って登録してください。

(3) 郵便局で請求する場合

郵便局（簡易郵便局除く）に設置される「国公立大学・短期大学及び通信教育課程、大学募集要項（願書）請求申込書」（郵便局用願書請求カタログ）に必要な事項を記入の上、送料と払込手数料120円を添えて、最寄りのゆうちょ銀行または郵便局の貯金窓口でお申し込みください。受付から1週間程で資料が届きます（発送開始日以前のお申し込みでは発送開始日から2～3日程が届きます）。郵便局用願書請求カタログは9月以降、高等学校で入手できる場合もあります。

(1)、(2) テレメール、(3) による
請求方法についてのお問い合わせ先

テレメールカスタマーセンター
050-8601-0102
(9:30～18:00)

(2) モバっちょ請求方法についてのお問い合わせ先

モバっちょカスタマーセンター
050-3540-5005
(平日 10:00～18:00)

(4) 郵送により請求する場合 ※AO選抜Ⅱ期のみ

請求用封筒の表に「AO選抜Ⅱ期学生募集要項請求」と朱書きし、郵送料分の切手を貼付した返信用封筒（角形2号）に受取人の郵便番号・住所・氏名を明記して、本学事務局教務学事グループ入試チーム宛に請求してください。なお、本学事務局窓口で直接請求し、受け取ることもできます。

請 求 先

〒030-0196 青森県青森市大字合子沢字山崎153-4
青森公立大学事務局
教務学事グループ入試チーム
TEL: 017-764-1555



公立大学法人 **青森公立大学**

<http://www.nebuta.ac.jp/>



JR青森駅からJRバスまたは市営バス
「青森公立大学」または「ヴィラシティ雲谷」
行きで約50分。「青森公立大学」下車



(財)大学基準協会 正会員

TEL 017-764-1555
FAX 017-764-1544

〒030-0196 青森市合子沢字山崎153-4